

計画推進評価部会における意見と県の対応

資料3

PJ No.	プロジェクト名	委員名	意見	県の対応（案）
5	エネルギー	北原委員	例えば、県民ニーズの動向③に「『今より生活が不便になっても省エネには積極的に取り組むべきだ』と思う人の割合」とあるが、現在は省エネ機器のほうがむしろ便利なものさえある。省エネが不便だと印象付けないようにすべき。	ご意見については事業実施の中で参考とさせていただきます。
6	産業創出	伊達委員	産業創出にあたっては、次世代の社会システムを検討し、ビジョンをどう示すのが重要だ。高齢者の社会参加が重要。また、外国人就労者どう取り込んでいくのが重要。	ご意見については事業実施の中で参考とさせていただきます。
6	産業創出	伊達委員	数値目標①にロボットの実証実験件数とあるが、実際には、いかに社会でロボットを実装していくかが重要であり、そこに至るまでが困難であるため、社会への実装を後押ししてほしい。	二次評価（案）に反映しました。
7	海外展開	全委員	実績値が判明し一次評価が「順調」に修正された。不明確だった部分についても対応いただいております。一次評価と同様の評価でよい。	二次評価（案）に反映しました。
8	観光	村井	メディアの注目がインバウンドに向いているが、実際は8割くらいが国内の旅行者であり、平日などは高齢の観光客が大勢いる場所もある。国内の誘客促進やバリアフリーなど高齢者も過ごしやすい観光地といった視点が必要。	ご意見については事業実施の中で参考とさせていただきます。
8	観光	川崎委員	外国人観光客と国内からの観光客を区別することは多文化共生の観点から残念なことであり、外国人旅行者という表現を修正すべき。	ご意見については事業実施の中で参考とさせていただきます。
10	農林水産	山本委員	PJ10のタイトルは農林水産だが、林業に関する取組みが見えにくいので、林業に関する何らかのデータを示せないか。	ご意見を踏まえ、評価報告書の記述を修正しました。
10	農林水産	内田委員	県が友好提携しているドイツのバーデン-ビュルテンベルク州には林業大学があり、林業分野でも交流を進めたらどうか。	ご意見については事業実施の中で参考とさせていただきます。
10	農林水産	原委員	数値目標④では、水産物の加工品数を数値目標にしているが、新鮮な地産の魚を食べられる店が増えるなどの指標の方が県民等が求めている実感に近いのではないか。	ご意見については事業実施の中で参考とさせていただきます。
14	子ども・青少年	池本委員	里親による養護について、都道府県別に比較すると、神奈川はかなり遅れているという新聞報道もあった。全国平均に近づけるなどしっかりと取り組んでいくことを二次評価に記載すべき。	二次評価（案）に反映しました。

PJ No.	プロジェクト名	委員名	意見	県の対応（案）
16	スポーツ	池本委員	子どもの外遊びは心身の発達にとって重要である。イギリスでは校庭の活用もなされている。県として、子どもの遊び場を確保すべきことを認識してもらいたい。	ご意見については事業実施の中で参考とさせていただきます。
17	雇用	小池委員	経済連携協定に基づき入国した外国人看護師・介護福祉士候補者の国家試験合格者が少ない。試験対策は難しいと思うが、実際に効果が上がるよう取り組むべきである。	ご意見を踏まえ、評価報告書の記述を修正しました。
19	多文化共生	朱委員	神奈川は多文化共生が成功している。他の地域ではいろいろと課題があると聞いている。引き続き多文化共生に取り組んでいただきたい。	ご意見については事業実施の中で参考とさせていただきます。
20	協働連携	牛山委員	関東と近県における1万人あたりのNPO団体数は、神奈川県が一番少ないとのデータもあるようなので、対応を検討いただきたい。	ご意見については事業実施の中で参考とさせていただきます。
	全般	内田委員	グローバル戦略は、継続性のある事業展開をすべきであり、一過性の打ち出しで終わらないようにしていただきたい。	ご意見を踏まえ、評価報告書の記述を修正しました。
	全般	山本委員	各プロジェクトでそれぞれ独立して進められているように見えて、実は横の連携があるプロジェクトがある。一緒に進めたほうがいいものや、進捗具合などを考慮しながら進めたほうがいいものなどは、プロジェクト間の横の連携を考慮して進めるべき。	ご意見を踏まえ、評価報告書の記述を修正しました。
	全般	伊達委員	「厳しい財政状況のもと、従来の手法にとらわれることなく」という文章があるが、海外の事例を見ると、外部資金とか外部手法の有効活用を積極的に行っている。政策だけでなく財政についても、そうしたポジティブな方策を検討すべき。	ご意見については事業実施の中で参考とさせていただきます。
	全般	橋本委員	神奈川の戦略「オリンピック・パラリンピック」では、高齢者福祉、障害者の活躍、子ども・青少年など、いろいろなことがここで実現できるのではないかと。特にこの戦略は各プロジェクトの横の連携をしていただきたい。	ご意見を踏まえ、評価報告書の記述を修正しました。
	全般	杉田委員	「多様な主体との連携」とあるが、神奈川県は政令市が大きいという特徴がある。政令市との連携・すみわけについても考慮し、施策展開してほしい。	ご意見については事業実施の中で参考とさせていただきます。